

# ほむ・ほむ通信

No. **68**

生協の組合員と日本ユニセフ協会を結ぶネットワーク通信「ほむほむ通信」は、生協組合員のボランティアグループで発行・編集をしています。生協のユニセフ活動に積極的にご活用ください。



「ユニセフによる戦後日本の子どもたちへの支援」展示パネル



© UNICEF/NYHQ2015-1081/Karki  
ユニセフの支援により設置された子どもにやさしい空間(カトマンズ)



©日本ユニセフ協会/2015  
ユニセフラブウォークの様子

## 目次

|  |   |
|--|---|
| ◇ネパール大地震緊急募金 .....                             | 1 |
| ◇知っとこ。ユニセフ .....                               | 3 |
| 遺産寄付プログラム                                      |   |
| ◇世界の子どもたちは今 .....                              | 4 |
| 人道危機 シリーズNo. 2                                 |   |
| ◇生協のユニセフ支援活動 .....                             | 5 |
| 2014年度生協のユニセフ募金の実績                             |   |
| 2015年度ユニセフリーダーセミナーのご案内                         |   |
| ◇トピックス   |   |
| * 「子どもの権利条約カードブック」改訂版発行のおしらせ .....             | 7 |
| * 「ユニセフによる戦後日本の子どもたちへの支援」パネルの貸し出しをしています! ..... | 8 |
| * ユニセフラブウォーク中央大会にボランティアとして参加しました .....         | 9 |

### ほむ・ほむ通信 活用のすすめ

- すべてのページをコピーしなくても、「知っとこ。ユニセフ」や「世界の子どもたちは今」を集めて、資料としてご活用いただけます。
- ユニセフのつどいやユニセフ展、学習会の際に資料としてご活用いただけます。
- 店舗の募金箱の近くに置いて、生協のユニセフ活動を紹介する際にご活用いただけます。
- 生協の管理している文化センターなど、共用施設の雑誌コーナーなどにもご活用いただけます。
- 写真のコンテンツも充実しているので、カラーコピーでのご使用をおすすめします。



## ネパール大地震 緊急募金

～170万人のネパールの子どもたちに命を守る支援を～



© UNICEF/NYHQ2015-1113/Anthony  
12日に再び地震が襲ったカトマンズでユニセフが撮影した女の子

現地時間4月25日午前11時56分、ネパールのカトマンズ近郊で発生したマグニチュード7.9の大地震とその後も続く余震は、これまでに分かっているだけで5,000人以上命を奪い、約10,000人が負傷しています。

今回の大地震で最も大きな被害を受けた地域で、約170万人の子どもが緊急の支援を必要としています。被害が最も大きかった地域では、保健医療施設の約80%が施設に大きな被害を受け、屋外での医療活動を強いられています。

また、被害が大きかった16の郡でこれまで被害状況が確認できた323の学校のうち、274校が全半壊。子どもたちの日常を取り戻すためにも、学校活動を再開できる仮設の環境の設置も急がれています。

### ◆ 泣き続け、眠れぬ子どもたち ～心のケアを最優先に～

わずか2週間半の間に起こった2度の大地震による壊滅的な状況と向き合わなければならないネパールの子どもたちは今、これまで経験したことのない大きな影響を心を受けているとユニセフは警鐘を鳴らしました。5月12日の2度目の大きな地震によって多くの人々が自宅に戻ることを恐れ、数千人もの子どもたちとその家族が、各地に設置されている避難施設に再び殺到しています。

「繰り返し起こる地震が子どもたちの心に与える影響を軽んじてはいけません」とユニセフ・ネパール事務所副代表のローナック・カンが話します。



© UNICEF/NYHQ2015-0191/Ryeng  
瓦礫の中に座り込む14歳の少年。



© UNICEF/NYHQ2015-1081/Karki  
ユニセフの支援により設置された子どもにやさしい空間。(カトマンズ)

「火曜日に起こった地震の際、私は震源地に非常に近い場所にいました。人々は家から逃げ出し、子どもたちは抱き合って何時間も泣いていました。多くの子どもが怖い夢にうなされ、眠ることすらできないほど大きなストレスを抱えていたり、親のそばを離れられなくなってしまった子もいます。」

ユニセフは、ドラカやシンドゥパルチヨークなど、12日の地震で最も被害の大きかった地域での支援活動を強化。安全な水、衛生や基礎医療の資材の提供はもちろん、大きなストレスを感じている子どもたちへの心のケアに重点を置いて活動をしています。

## ◆ ユニセフ・ネパール事務所 穂積智夫代表 メッセージ

ネパールは、4月25日に発生した大地震で、甚大な被害を受けました。被災した各地で電気や通信、交通網が遮断され、その全容はまだ明らかになっていませんが、かなりの範囲にのぼることが想定されます。

多くの子どもたちの平和な日常が一瞬のうちに奪われました。子どもたちの命を守るために、安全な飲み水やテント、衛生環境の確保などの支援が一刻を争う状況です。

多くの場所で安全な飲み水が確保できない状況の中、水を媒介にする病気が、子どもたちの最大の脅威です。被災された多くの方々は、今はとにかく、日差しや雨を避けることだけで精一杯の状況です。私たちは、今後、日を迫につれ支援の必要性が拡大するとみています。



ユニセフ・ネパール事務所  
穂積代表

ネパールの子どもたちは、大地震が起こる前から、健康や栄養面で様々な困難に直面していました。災害への備えも十分ではない中で発生した大地震は、その困難をさらに増幅させました。



© UNICEF/NYHQ2015-1098/Panday  
ネパールの人里から遠く離れたMaidi村に、  
支援物資をとどける穂積代表

約170万人の子どもたちが、今、支援を必要としています。私がフィリピンでユニセフの代表をしていた一昨年の11月、超大型の台風がフィリピン中部を襲いました。未曾有の被害をもたらしましたが、日本をはじめ世界中から大変大きな支援が寄せられました。お陰様で、私たちも、フィリピンの子どもたちに、多くの支援を届けることができました。

ユニセフ・ネパール事務所のスタッフ自身も被災者です。でも、地震発生以降、みんな不眠不休でがんばってくれています。ぜひ、日本のみなさまのお力添えをお願いいたします。

人口のおよそ半分が18歳未満のネパールでは、深刻な被害と子どもたちへの影響が心配されています。ユニセフは、緊急支援活動に必要な今後3カ月分の資金として、総額5,035万ドル(約60億円)の支援を国際社会に呼びかけています(2015年5月1日時点)。

※日本ユニセフ協会が4月26日から受付を開始した「ネパール大地震緊急募金」には、全国で46以上の生協が取組んでいます(2015年5月20日現在 日本生協連調べ)。ご協力に感謝します。

## ◆ ネパール大地震 緊急募金 ◆

日本ユニセフ協会では、ネパールで発生した大地震の影響で厳しい状況下に置かれている子どもたちに対して、ユニセフが行う緊急支援のためのネパール大地震緊急募金を受け付けています。あたたかいご支援をよろしくお願いいたします。

郵便局(ゆうちょ銀行)募金口座  
振替口座:00190-5-31000  
口座名義:公益財団法人 日本ユニセフ協会

\*通信欄に「ネパール」と明記願います。  
\*窓口からのお振込の場合、送金手数料は免除されます。



# 知りたい? 知っここ。ユニセフ 遺産寄付プログラム

日本ユニセフ協会では、人生の最期をむかえるとき、大切な家族とお別れのとき、世界の子どもの力になりたいと考える方々において、**ユニセフ遺産寄付プログラム**をご用意しております。1999年のプログラム開始以来、そのご支援は増え続け、ユニセフの活動を支える大きな原動力となっています。みなさまのご意思と想いが、子どもたちの笑顔と未来につながっています。

## ユニセフ遺産寄付プログラム ～3つの寄付方法～

### 「遺言によるご寄付 (遺贈)」

人生の最期を迎えるとき、遺言書を通じて寄付する方法です。世界の子どもの未来のために、生涯で築かれた財産を役立てることができます。遺贈のご意思は、遺言書を残すことではじめて実現されます。

### 「相続財産のご寄付」

世界の子どもたちへの故人の想いを、遺されたご家族（相続人）が実現されるご寄付の方法です。ご寄付に相続税はかかりません（非課税の扱いを受けられる場合は、税申告期限内にお手続きが必要です）。

### 「お香典・御花料のご寄付」

お香典返しに替えて、募金として世界の子どもたちのために役立てる方法です。お悔やみを下さった方々へのご遺族のお手紙に同封できる「お礼状」の用意を、日本ユニセフ協会に依頼することができます。

詳しくは・

「遺産の寄付に関するガイドブック」  
をご覧ください。

「遺産の寄付に関するガイドブック」表紙

### 資料のご請求

フリーダイヤル  
**0120-3610-52**  
(平日 9:00-18:00)

★ガイドブックはHPからも  
ダウンロードできます★  
<http://www.unicef.or.jp/isan>



### ユニセフ相続セミナー

ご支援をご検討いただいている方々を対象に、「ユニセフ相続セミナー」を開催しております。

(東京・大阪・名古屋にて)  
春：税金篇、秋：法律篇)

寄付に関する  
お問い合わせ

**03-5789-2013**  
(レガシー係)  
(平日 9:00-17:00)

アメリカ先住民ナバホ族のことは

この大地は祖先から譲りうけたものではない。  
未来のこどもたちから借り受けているものである。



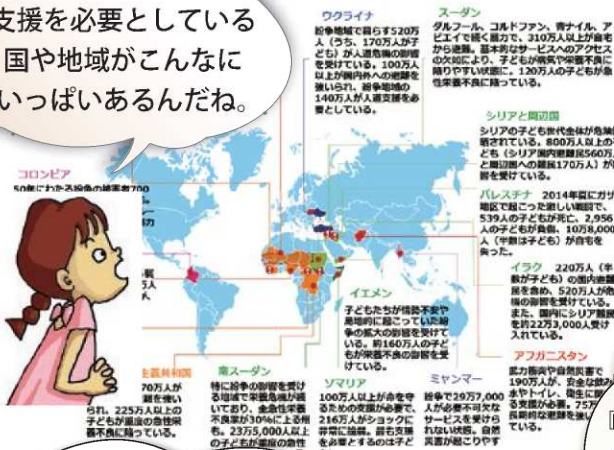


# 世界の子どもたちは今

人道支援  
人道危機 緊急募金  
シリーズ No.2

2015年ユニセフ人道支援計画では、世界71カ国で6,200万人の子どもを含め9,800万人に支援を提供する計画です。

支援を必要としている国や地域がこんなにいっぱいあるんだね。



その中でも特に、  
●中央アフリカ共和国  
●エボラ出血熱（西アフリカ）  
●イラク ●南スーダン  
●シリアとその周辺国。  
この5つが『レベル3の人道危機』に指定されてるんだ。\*

\*2015年5月現在



最優先に人道支援を！

紛争や事態が長引くと、報道されなくなって『世界から忘れられた人道危機』なんて言われてるんだ。

## ●絶え間ない恐怖の連続



命の危険と不安の中で暮らしてるのね。



1

2

3

4

## ●不衛生な避難所生活 ●重度の急性栄養不良



今こうしている間にも、子どもたちの命が危険にさらされているんだね。どうしたらいいんだろう？どんな支援方法があるのか調べてみよう！



[http://www.unicef.or.jp/cooperate/coop\\_other.html](http://www.unicef.or.jp/cooperate/coop_other.html)



## 1. 2014 年度生協のユニセフ募金の実績

2014 年度に、全国の生協が組合員に協力を呼びかけて集約されたユニセフ募金は、2014 年 4 月～2015 年 3 月までの累計で、一般募金、緊急募金、指定募金をあわせて約 2 億 2,000 万円となりました。指定募金は、コープネット事業連合やユーコープ事業連合の牛乳（コープ牛乳）の購入を通じた募金や、地域ごとに取り組みられているラオス・東ティモール・ブータンへの募金、CO・OP コアノンロールや CO・OP ワンタッチ芯までロールの購入を通じたアンゴラへの募金等で、約 8,800 万円が寄せられました。

全国の生協の募金額集計を開始した 1983 年からの累計総額は、約 79 億 8,000 万円となりました。

(単位:円)

| 募金種別                 | 2014年度      | 2013年度      |
|----------------------|-------------|-------------|
| ①一般募金計               | 75,778,644  | 75,589,404  |
| ②指定募金計               | 88,217,980  | 68,945,841  |
| 東ティモール保健※1           | 12,459,911  | —           |
| ネパール女性と子どものための地域開発※1 | 4,859,048   | 19,282,107  |
| ラオス初等教育平等化プログラム※1    | 13,624,806  | 15,679,233  |
| ミャンマー栄養※2            | 800,000     | —           |
| シエラレオネ栄養プログラム※1      | 14,492,733  | —           |
| モザンビーク栄養プログラム※3      | 190,100     | 941,136     |
| ネパール児童労働※1           | 12,427,045  | —           |
| マラウイ教育支援プロジェクト       | —           | 4,409,726   |
| ブータン水と衛生             | 12,961,068  | 12,379,398  |
| インド教育※1              | 3,128,510   | 173,181     |
| モルディブ栄養と環境改善         | —           | 4,844,692   |
| アンゴラ教育               | 13,273,700  | 11,227,510  |
| マダガスカル水と衛生※4         | 1,059       | 884         |
| マリ水と衛生※5             | —           | 7,974       |
| ③緊急募金計               | 59,591,263  | 135,160,632 |
| 緊急募金                 |             |             |
| エボラ出血熱緊急             | 46,059,898  | —           |
| フィリピン台風緊急            | 13,425,060  | 109,248,310 |
| アフリカ緊急               | 50,000      | —           |
| シリア緊急                | 34,098      | 25,499,214  |
| 東日本大震災緊急             | —           | 101,412     |
| ハイチ地震                | —           | 11,750      |
| 自然災害                 | 22,207      | 299,946     |
| 総合計(①+②+③)           | 223,587,887 | 279,695,877 |

\*4月1日～3月31日までの日本ユニセフ協会入金分を集計

※1 送金時期の関係で、2014 年 4～3 月の実績では当該数値になっています。

※2 関西・中四国地連の 17 生協が実施する指定募金です(2016 年度開始)。

※3 ハッピーミルクプロジェクト(モザンビーク)最終年度の個人募金分のみです。

※4 生協だけでなく一般にも公開されている分野・地域指定募金です。

※5 ダノンウォーターズオブジャパン社が取り組む Volvic 1L for 10L プログラムを通じたマリの水と衛生プロジェクトへの協力分です(大学生協東海事業連合によるご協力)。





## 2. 2015年度ユニセフリーダーセミナーのご案内

7月28日、ユニセフハウスにて2015年度ユニセフリーダーセミナーを開催します。ネパール大地震へのユニセフによる緊急支援活動報告のほか、生協によるユニセフ関連広報物の制作について交流・ワークショップを行います。新任者・ブランクのある方歓迎です。ぜひ奮ってご参加ください！

①日程 2015年7月28日(火) 10:00~16:00

※セミナー後、希望者を対象にユニセフハウスの見学を実施します。

②会場 ユニセフハウス 2階会議室(定員48人)

東京都港区高輪4-6-12 Tel 03-5789-2012

(JR/京浜急行 品川駅高輪口より徒歩7分、都営浅草線高輪台駅より徒歩7分)

③参加対象

生協のユニセフ協力活動に積極的に関わり、生協でユニセフ活動を進めていく生協の組合員・役職員。新任の方、ブランクのある方歓迎です。

④プログラム(予定)

ユニセフの現地事務所スタッフからの報告や、生協同士の交流・ワークショップを行います。今年の現時事務所スタッフの報告では、ユニセフ・南アジア地域事務所(ネパール・カトマンズ)の鈴木恵理さんをお招きします。ネパール大地震へのユニセフによる緊急支援活動を中心に報告いただきます。

⑤参加費

前泊有の場合:1人あたり3,000円(税込) (高輪東武ホテル)

前泊無の場合:1人あたり1,000円(税込)

【参加費に含まれるもの】研修参加費、昼食費

※前泊ありの場合は、宿泊費(7/27)と朝食代(7/28)も含まれます。

⑥申し込み及びお問い合わせ先

(公財)日本ユニセフ協会 団体・組織事業部 生協担当 石尾まで

mail: tishio@unicef.or.jp

TEL 03-5789-2012 FAX 03-5789-2032

☆2014年度のセミナー参加者の声(大阪会場)☆

昨年度は大阪で開催し、15生協から47人が参加しました。

★他生協、現地報告、ワークショップも今後の活動の参考になることばかり！

★なぜ支援が必要なのかがよく理解できた。

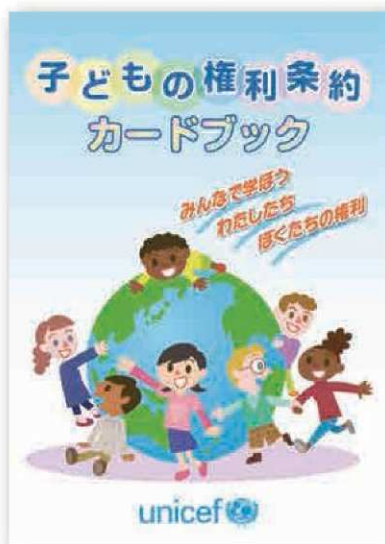
★ユニセフについて学ぶということが楽しい！と実感できた。



昨年のセミナーの様子



## 「子どもの権利条約カードブック」改訂版発行のお知らせ



『子どもの権利条約カードブック』が発行されたのは1997年。これまでの18年間に、世界の子どもを取り巻く状況も変化してきました。そこで、今回この『子どもの権利条約カードブック』の改訂版が発行されました。

子どもの権利条約に関する解説も、より詳しく幅広く取り上げられ、初めてこの条約に触れる子どもにも、また大人の方にも理解してもらえよう、わかりやすくまとめられています。

学校の授業  
ユニセフ学習会  
などで使えます

条約カードは  
切り離せます

「子どもの権利」について理解を深められるように、条約カードを切り離して学校の授業やユニセフ学習会などで使えるアクティビティや、子どもの権利を守るために実際どんな取り組みが行われているかといった事例も「子どもにやさしいまち」※で取り上げて紹介しています。

※[http://www.unicef.or.jp/kodomo/teacher/pdf/fo/fo\\_43.pdf](http://www.unicef.or.jp/kodomo/teacher/pdf/fo/fo_43.pdf)



### 「子どもの権利条約カードブック」申し込み・問い合わせ



一冊まで無料！

03-5789-2014  
学校事業部

B5版 29ページ／対象：小学校高学年以上  
1冊まで無料。2冊目からは1冊60円

このカードブックのお申し込み・お問い合わせは、

日本ユニセフ協会 学校事業部

TEL:03-5789-2014 FAX:03-5789-2034

(参考資料：ユニセフ・ニュース Vol. 245 より抜粋・編集)

「子どもの権利条約」が国際連合で採択されてから昨年で25周年を迎えました。



# 「ユニセフによる戦後日本の子どもたちへの支援」 パネルの貸し出しをしています！



横浜港に到着した粉ミルクをトラックに積み換え。

パネル「横浜港に到着した粉ミルクをトラックに積み換え。」

## 支援を続けて 60 年

2015 年は、戦後 70 年。とともに、日本ユニセフ協会創立 60 周年にあたる節目の年でもあります。日本ユニセフ協会は、日本においてユニセフを代表する機関として、1955 年に財団法人として設立。それ以来、60 年にわたり子どもたちのために活動を続けてきました。

## 戦後の日本も

時代・時代ごとに移り変わっていく世界の問題。今はユニセフの支援を受けていない日本やヨーロッパなどの国も、第 2 次世界大戦後の時期にユニセフの支援を受けていたのです。その中で、日本は、1949 年～ 1964 年まで 15 年間にわたり学校給食用の粉ミルクや医薬品など、当時のお金で 65 億円にのぼる支援を受けました。大変な金額ですね。



愛知県名古屋市中川区 広見小学校

パネル「愛知県名古屋市中区 広見小学校」

## 展示パネルの貸し出し

日本がユニセフから支援を受けていた当時の貴重な写真が、日本ユニセフ協会に保存され、その一部を紹介する展示パネルがあります。パネルの貸し出しを行っていますので、ぜひ、この機会に地域の展示施設などを利用して、ユニセフ展示会を企画してみたいかがでしょう。当時を知っている人には懐かしく、子どもたちには新鮮な発見になると思います。

## パネルの内容

※パネル数：40 枚 (A3：42 cm×29.7 cm 写真 36 点)

### 「ユニセフによる 戦後日本の子どもたちへの支援」

支援物資の粉ミルクや原綿が届き、給食や衣料が提供され喜ぶ子どもたちの姿、ユニセフの支援に感謝する会を催している風景、乳児検診や医療面の支援など、当時の写真からは、今につながるユニセフの自立を目指した支援の様子が伝わります。



粉ミルクの袋で遊ぶ子どもたち。

パネル「粉ミルクの間で遊ぶ子どもたち。」

### 【申し込み・問い合わせ】

日本ユニセフ協会：団体・組織事業部 巡回写真展担当：03-5789-2012



ユニセフラブウォーク中央大会、33回目を迎えた今年は、「誰もが大切な‘いのち’！」をテーマに、大使館をめぐるコースでユニセフハウスを会場として4月5日(日)に開催されました。

私はコープみらいの組合員であり、埼玉県ユニセフ協会の運営ボランティアをしています。いつもは県内の学校に行ったり、イベントに参加してユニセフ活動について話を理解してもらい、募金への協力をお願いしています。今年もラブウォークのお手伝いの依頼があり県協会から5名のボランティアが参加しました。桜を濡らす止みそうで止まない冷たい雨の中を6kmと12kmのコースを子どもから大人まで391の方が参加して下さりそれぞれのペースでゴールを目指して歩きました。

私はスポットガイドのお手伝いです。スポットガイドはルートを間違えないために交差点や分かりにくいポイントに立って道案内をします。公園が目の前にあり散っていく桜を見ながら4時間ほど外に立っていると体は冷えてきます。今回はゴールに近い場所でしたので私から「がんばってください、もう少しでゴールです」と声をかけました。参加者からは「この道で良かったんだ」「お世話さま！」「寒いのにご苦労さま！」と言っていました。

「よかった！道を間違えた方はいないみたい、また来年もお手伝いしよう」と思いながら最後の参加者の方と職員、ボランティアのみなさんとユニセフハウスに戻り、暖かい飲み物を飲みながら他の地域のボランティア同士の意見交換を楽しみました。

(ぼむぼむ通信 編集委員 武田)



©日本ユニセフ協会/2015  
あいにくの雨の中でも桜並木を元気よく歩く参加者のみなさん



# ぽむ・ぽむ広場

## 編集後記

5年ごとのNPT(核不拡散条約)再検討会議、今年4月27日～5月22日までNYの国連ビルで開催されました。その開催に合わせて、全国の生協がNPT再検討会議代表派遣団を結成しました。私は、生活協同組合ユーコープのかがわ県組合員代表としてNYに行ってきました。

日本被団協の被爆者の方々と行動をともし、核兵器廃絶を訴えて、戦争のない世界への願いをいろいろなところで発信しました。会議の期間中、国連のロビーで開催されていた原爆展は多くの人に見てほしい、被爆者の声に耳を傾けてほしいと切に思いました。それでも、いろいろな若者が集まる高校で証言活動を行い、核兵器や戦争について質疑応答をするなかで、戦争のない未来をめざす希望を感じることができました。すべての子どもたちの笑顔のためにできること、これからも考えて行動していきたいと微力ながら思っています(T)。

ユニセフ\*コープネットワーク

**ぽむ・ぽむ通信**

No. 68 2015年6月15日発行

編集 **グループ ぽむ・ぽむ**

スタッフ・編集／蛸沢・小池・武田・立川・土橋・  
浜崎・松本・山本・石尾・櫻井

発行 日本生協連 組合員活動部

〒150-8913

東京都渋谷区渋谷3-29-8 コーププラザ 11F

TEL03-5778-8124 FAX03-5778-8125

ホームページ <http://jccu.coop/unicef/>

○次号は、2015年9月15日に発行予定です。

## ぽむ・ぽむ通信・ひとことカード

今回の「ぽむ・ぽむ通信」はいかがでしたか？感想やご意見・ご要望をお寄せください。次号以降の参考にさせていただきます。

---

---

---

生協名： \_\_\_\_\_

氏名（ペンネーム可）： \_\_\_\_\_ 《 組合員・役職員・その他 》

ご協力ありがとうございました！下記の宛先までお送りください。

宛先：日本生協連 組合員活動部 FAX：03-5778-8125 MAIL：[kumikatsu@jccu.coop](mailto:kumikatsu@jccu.coop)